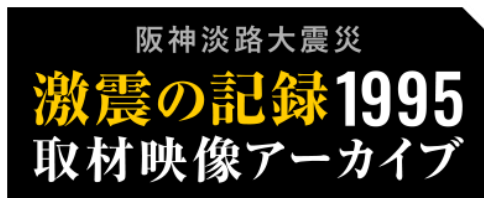


「激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」が
「デジタルアーカイブ学会 第6回学会賞 実践賞」を受賞！

朝日放送グループホールディングス株式会社（本社：大阪市福島区、社長執行役員：西出将之）は、サステナビリティへの取り組みの一環として、阪神淡路大震災発生から25年を迎えた2020年1月より、当社グループが保有する震災映像を、防災・減災のために広く活用していただけるよう多様な方法で一般公開しています。この度、「阪神淡路大震災 取材アーカイブプロジェクト」のウェブサイト「激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」(https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/)が「デジタルアーカイブ学会 第6回学会賞 実践賞」を受賞致しました。今後も、防災・減災情報の未来への伝承とより有効で多様な社会共有の方法を考え、命と暮らしを守る情報発信や取り組みを進めてまいります。

◇「デジタルアーカイブ学会 第6回学会賞 実践賞」受賞概要

◆受賞者：「阪神淡路大震災 激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」



◆授賞理由：

2025年1月に阪神淡路大震災から30年を迎える。本映像アーカイブは、過去の災害取材の過程で蓄積された膨大な映像資料を対象とし、社会的インパクトを与えた意義は大きい。またその公開にあたって、デジタルアーカイブ学会の肖像権ガイドラインを参照しながら運用したことなど、難しいといわれる映像資料（特に報道資料）のデジタルアーカイブの先進的事例としても多く言及されている。また、報道機関を含む言論・産業界が、自らの知的資産をアーカイブとして活用しようとする事例である、という点でも高く評価できる。

この試みをきっかけに、東日本大震災を含む多くの災害映像が適切に公開されていくことを期待して、実践賞を授与する。